

# JAみやぎ仙南自己改革取組宣言

これまでも、これからも、地域とともに  
JAみやぎ仙南は「総合事業」を展開します。

協同組合とは、組合員の1人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織であり、協同の精神である相互扶助にもとづく「共助」の結合体ともいえる組織です。

JAは農業者（正組合員）と、農業者とともに地域農業を支える方々（准組合員）が組織する協同組合です。組合員の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的として、農畜産物の販売や、信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）などの様々な事業を通じて総合的に結び付け、地域づくりに取り組んでいます。

地域農業の振興には、信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで事業運営をしているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や農業関連施設への投資が可能になります。正組合員のみならず、准組合員の事業利用が地域農業の振興の一助となり不可欠です。

JAはこれからも総合事業を通じて、組合員・地域の皆さまとともに地域の農業や暮らしを守り、協同の精神を次代につなげるための活動に取り組んでいきます。

## 《 農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けた2018年度の主な取り組み 》

- ① 農家経営の安定化を考慮し、契約栽培米・買取米に取り組みました。（8,930俵）
- ② 新たな販路拡大策として、宮城蔵王梨の国外輸出に取り組みました。（約2.2t）
- ③ 生産資材の価格引き下げや化成肥料の銘柄集約、大型規格農薬や省力化資材の普及、また予約・早期配送、決済期限の弾力化等に取り組みました。



②平成30年度  
第2回みやぎ園芸振興大賞受賞

## 《 農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けた2019年度の主な取り組み（計画） 》

- ① 契約栽培米・買取米の拡大（集荷目標：13,940俵）
- ② 玉ねぎ用農業機械の導入（予算：65,000千円）  
今後需要が見込め、また、高収益作物のひとつとして、機械化一貫体系による労働力の省力化や所得改善を図ります。そのため、関係する機械等を導入し、機械利用等の環境整備に取り組めます。
- ③ 農業生産資材を集約する広域配送拠点として新たな流通センターの設立計画を進め、配送の合理化と資材価格の引き下げによる経済事業改革を前進させます。
- ④ 生産部会等組織への支援（予算16,000千円）  
生産部会・認定農業者協議会・防除協議会・農業振興会等を育成支援します。農業用廃プラスチック適正処理排出者に対し、処理費用を助成します。
- ⑤ 農業経営管理支援事業（記帳代行）の取り組み強化  
経営管理支援として引き続き取り組めます。（33経営体→42経営体）